

株主・投資家の皆様へ

LINTEC

WAVE

リンテックウエーブ

*Linking
your
dreams*

DECEMBER 2020

81

● 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長
社長執行役員 **服部 真**

● スペシャルレポート

リンテックの新しい働き方

● LINTEC ESSAY

かなりや
金糸雀 森山 良子

第127期
(2021年3月期)
第2四半期
決算情報

証券コード：7966

LINTEC WAVE

81

DECEMBER 2020



表紙：雪晴れの街

はり絵画家・内田正泰氏は、独自の技法で色紙をちぎって貼り重ね、日本の美しい自然を彩り豊かに表現。四季折々の風や空気、音や薫りを感じさせ、誰もが抱く「心の原風景」を思い起こさせてくれます。

目次

2 連結業績推移

3 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長 服部 真
社長執行役員

4 スペシャルレポート

リンテックの新しい働き方

8 トピックス

9 新聞広告シリーズ

10 LINTEC ESSAY

かなりや 金糸雀 森山 良子

12 アンケート結果のご報告

14 決算情報

16 セグメント情報

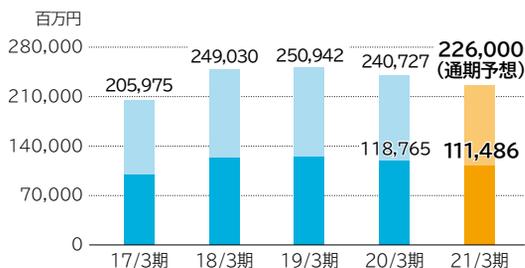
19 株式情報

(免責事項)

業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

連結業績推移

売上高



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



▶ 2021年3月期第2四半期連結累計期間 (前年同期比)

売上高

111,486 百万円 (6.1%減)

営業利益

6,324 百万円 (9.0%減)

経常利益

6,204 百万円 (4.4%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益

4,159 百万円 (8.4%減)



代表取締役社長 是(は)つ(と)り ま(ま)こと
社長執行役員 **服部 真**

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績は、半導体・電子部品関連製品は好調な需要に支えられて順調に推移しましたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響によって他の製品は総じて需要が低調となり、当初の想定を上回る受注の減少や操業の大幅な落ち込みなどから減収減益となりました。

当第3四半期以降は、国内外において受注が回復傾向にあります。予断を許さ

ない経営環境が続くと予想されます。このような状況を勘案し、2020年5月8日に公表した2021年3月期の通期連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。配当につきましては、中間配当金は当初予想どおり1株当たり39円とし、期末配当金も当初予想の同39円を変更しておりません。

新型コロナウイルスの収束は依然見通せない状況ですが、収益が悪化した部門の立て直しを図るなど、業績向上に努めてまいります。株主・投資家の皆様には、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

	2021年3月期連結業績予想		2020年3月期
	当初予想	修正予想 (増減率)	実績
売上高	2,400億円 ▶	2,260億円 (5.8%減)	2,407億27百万円
営業利益	150億円 ▶	130億円 (13.3%減)	154億40百万円
経常利益	150億円 ▶	125億円 (16.7%減)	144億84百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	110億円 ▶	85億円 (22.7%減)	96億20百万円

リンテックの 新しい働き方



新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、私たちの働き方は大きな変化の時を迎えています。当社では基本的な感染防止対策を徹底するとともに、感染リスクを低減させるための取り組みとして、自宅などで就業するテレワークを推進しています。こうした取り組みは今や感染防止対策にとどまらず、さらなる生産性の向上と多様な働き方の実現にも貢献するものです。今号では、当社の新型コロナ対策とそれに伴って変化し始めた働き方について、従業員の声を交えながらご紹介します。

■ 新型コロナ対策を全社で徹底

新型コロナウイルスの国内における感染拡大については、まだまだ予断を許さない状況が続いています。これまで当社では、営業部門や管理部門を中心に在宅勤務をはじめとするテレワークを導入し、モバイル端末やネットワーク環境の整備などを推進してきました。生産や研究開発現場などではテレワークへの移行は難しいですが、全社的にマスク着用の義務化や手洗い・アルコール消毒の励行、常時換気や会議室などの空きスペースの活用による3密（密閉・密集・密接）の回避といった基本的な対策を徹底し、感染防止と製品の安定供給などに努めています。また、ウェブ会議システムの導入・活用によって出張や外出を大幅

に削減しているほか、フレックスタイム制度の利用拡大や時差出勤の推奨などにより、出退勤時のリスクを低減。これらは“ウィズコロナ”の時代を見据えた新しい働き方として、労働生産性の向上や働きやすい環境づくりにもつながる取り組みと考えています。

全社的に行っている主な施策



マスク着用の義務化



手洗い・アルコール消毒の励行



換気の徹底



密集、密接の回避



ウェブ会議システムの導入・活用



フレックスタイム制度の利用拡大

■ 各現場での対応

コロナ禍においては、各現場でもさまざまな試行錯誤をしながら業務効率の維持・向上に努めています。ここでは、実際にどのような変化があったのか従業員の声をご紹介します。

● 海外営業

オンラインでのコミュニケーションをより丁寧に

私は主に韓国、マレーシア、タイのお客様に向けた半導体関連製品の提案や海外拠点と国内の生産・研究開発部門との調整などを担当しており、以前は月に2回ほど海外出張をしていました。現在はお客様との商談や社内のやり取りも全てオンライン形式に切り替えています。

オンラインでの商談は移動がないのが利点ですが、実際に対面しているわけではなく、加えてお互い母国語ではない英語でのやり取りなので、こちらの考えがどの程度伝わっているのか分かりにくいという面もあります。より丁寧に説明して、うまくコミュニケーションを取っていきたいですね。



事業統括本部アドバンスト
マテリアルズ事業部門
半導体材料部 係長
いちば あつし
一場 惇

● 国内営業



事業統括本部
洋紙事業部門
東京洋紙営業部
いのうえ ゆうすけ
井上 祐輔

新規顧客開拓に向けて新たなアプローチを模索

高級印刷用紙や特殊機能紙の営業を担当しています。新型コロナの感染拡大前は、月に15回程度お客様の元へ足を運んでいました。直接お会いして当社製品に対する評価や新たなニーズ、市場の状況などを把握するのが大事な仕事なので、緊急事態宣言下で訪問できなかった時期は大変でした。今では、感染防止対策を徹底することで訪問できるお客様も増えてきています。

現在、ウェブ会議システムを活用した製品提案も検討しており、今までアプローチしづらかった新規のお客様に向けて提案できるチャンスと前向きに捉えています。

● 管理部門

業務効率が向上し、仕事と家事の両立にも寄与

品質に関する国際規格である「ISO9001」などの各種認証取得に関する業務を担当しています。以前は各拠点に出張して講習会や監査を行っていましたが、今年はウェブ会議システムを活用して実施しました。初めての試みでしたが、監査に必要な書類を事前にデータ化してもらうなどの工夫をすることで円滑に進めることができています。

私生活では、今年結婚して環境が大きく変わり、当初は仕事と家事の両立に苦労することもあったのですが、在宅勤務の日は通勤に費やしていた時間を家事に充てることができるようになったので、非常に助かっています。



品質・環境統括本部
品質保証部
たかぎ まさき
高木 真希

📶 各部署でのテレワーク導入に向けてネットワーク環境の整備やセキュリティー面の強化を推進した、情報システム部の責任者に話を聞きました。



管理本部
情報システム部長
ふじと ひであき
藤戸 英明

従業員教育の継続・強化でセキュリティー対策を万全に

テレワークの推進に当たり、社外から安全なネットワークに接続できる環境の整備とウェブ会議システムの導入が急務でしたが、これらについては今年11月の営業統括拠点の移転に向けて昨年からの準備を進めていたことが功を奏し、比較的速やかに環境を整えることができました。製品の受発注や各種書類の申請・承認も電子化したことで、この半年で急速に業務の効率化や“脱ハンコ”化も図られました。

今後は業務の進捗管理が可能なシステムの導入などを予定しているほか、蓄積したデータを分析し、経営の効率化に活用できるシステムも構築していきたいと考えています。また、働き方の変化に伴ってセキュリティー対策が一層重要になってきています。システム面はもちろん、従業員への教育も継続・強化し、より意識を高めていきます。

新しい働き方をベースとする新オフィスが稼働開始

この11月、営業の統括拠点である東京・文京区の「飯田橋オフィス」を近隣の後楽園駅・春日駅直結のビルに移転し、「文京春日オフィス」として新たに営業を開始しました。これまで6フロアに分散していたオフィスを新しいビルでは8階と9階に集約。各人専用のデスクを設けない「フリーアドレス」と「ペーパーレス」を主要コンセプトに、コミュニケーションの活性化や業務の効率化をさらに推進していきます。またショールームも設置し、デジタルコンテンツを充実させることで当社の技術や製品を分かりやすく紹介しています。



新オフィスビル外観

■ コロナ対策にとどまらず、さらなる働き方の改善へ

当初は人との接触を減らすための施策の一つとして導入されたテレワークでしたが、モバイル端末への切り替えといった環境面の改善、あるいは各従業員の意識の変革や工夫によって、ウェブ会議システムの活用も含めた新しい働き方が定着しつつあります。通勤などの移動時間の大幅な削減による生産性の向上やワークライフバランスの改善にもつながることから、当社では10月からテレワークを勤務体系の一つとして正式に制度化し、在宅勤務に伴って発生する水道光熱費などの諸費用を支給する在宅勤務手当も新設しました。

今回、働き方が大きく変化するきっかけとなった新型コロナウイルスの感染拡大は経済や社会に非常に大きなマイナス影響

を与えていますが、それに伴う社会情勢の変化に迅速に対応することは次なる成長へのチャンスであるといえます。今後も従業員一人ひとりのライフスタイルに配慮しつつ、メーカーとして高品質な製品やサービスを安定的かつタイムリーに提供していけるよう、さらなる生産性の向上につながる「働き方改革」を模索・検討していきます。

